

# 環境管理の充実

沖電グループでは、2008年度から「沖電グループ環境方針」に基づき、グループをあげて事業全般にわたり環境行動を展開しています。

アダン

葉は硬く鋭いトゲがあり、幹からはタコの足のような根がでるのが特徴です。パイナップルのような実をつけ、オカヤドカリやヤシガニの好物となっています。



## 沖電グループ環境方針

### 【環境理念】

沖電グループは、豊かで美しい地球環境を未来へ引き継いでいくために、沖電グループ一体となった環境管理推進体制を整備し、環境を最大限重視した事業活動を展開します。また、持続的発展が可能な社会の実現に向け、社員一人ひとりが高い意識を持って積極的に行動します。

- 地球温暖化や廃棄物問題など、環境負荷の低減に向け環境目標を設定し、継続的に改善を実践します。
- 環境関連法令や協定の順守はもとより、全従業員の環境意識の向上や環境汚染の予防など、日常管理を更に推進します。
- 迅速な情報開示やステークホルダー（お客さま、株主・投資家、従業員、地域社会等）との対話を通じて信頼関係を築き、事業活動の透明性を確保します。

### 【環境行動指針】

- 1.環境管理の充実
  - (1)沖電グループ一体となった環境行動を推進します。
  - (2)環境負荷の低減・環境事故の未然防止に努めます。
  - (3)社員環境教育の充実を図ります。
- 2.地域環境保全の推進
  - (1)環境アセスメントおよび環境モニタリングを実施します。
  - (2)発電所等における環境保全対策の充実を図ります。
  - (3)周辺環境に調和した施設づくりに取り組みます。
- 3.地球環境対策の推進
  - (1)温室効果ガスの排出抑制に努めます。
  - (2)設備の高効率運用を推進します。
  - (3)新エネルギーの導入を推進します。
  - (4)省エネ・省資源活動を推進します。
- 4.循環型社会形成の推進
  - (1)事業活動に伴う廃棄物の3Rを推進します。
  - (2)グリーン購入を推進します。
- 5.環境コミュニケーションの推進
  - (1)環境に関する情報開示を積極的に行います。
  - (2)ボランティア活動への取り組みを推進します。
  - (3)「エネルギー・環境教育」支援活動を推進します。
  - (4)環境に関する国際交流を推進します。

(2008年3月11日制定)

## 参考指針

### ●平成20年度沖電グループ経営方針

#### 【重点的に取り組む事項】

- 経営基盤の強化
- 「沖電グループ」ブランドの確立
  - 1.お客さまの満足度向上
  - 2.CSR活動の推進
  - 3.ブランド広報活動の実施

### ●平成20年度 沖縄電力経営方針

#### 【重点的に取り組む事項】

- 1.お客さまの満足度向上を目指して
- 2.信頼される電気事業者を目指して
- 3.安定供給の徹底を目指して
- 4.地球環境との調和を目指して
- 5.財務体質の強化を目指して
- 6.組織力・社員力の向上を目指して
- 7.グループ企業価値の向上を目指して

### ●電気事業における環境行動計画

【電気事業連合会 [P70](#) (2007年9月)抜粋】

電気事業としての取り組み方針・計画をまとめた「電気事業における環境行動計画(1996年11月策定)」について、透明性確保と目標達成を確実なものとするため、毎年フォローアップを実施しています。第10回のフォローアップの主な結果は次のとおりです。

#### 地球温暖化対策

2008～2012年度における使用端CO<sub>2</sub>排出原単位を1990年度実績から平均で20%程度低減(0.34kg-CO<sub>2</sub>/kWh程度にまで低減)するよう努める。

#### 循環型社会の形成

2010年度における廃棄物再資源化率を95%程度とするよう努める。

#### 化学物質の管理

化学物質の管理への前向きな取り組みを広く理解して頂くため、2006年度実績調査の結果を公表し、今後も適正な管理と排出削減に努める。

#### 環境管理の推進

- ・「環境行動レポート」等を通じて、環境保全に関する各社の取り組み内容を公表する。
- ・社内環境管理体制・制度の充実や代表事業所のISO14001認証取得等各社の方針に基づき自主的かつ積極的な取り組みを進めていく。

#### 海外事業展開にあたっての環境配慮

人材育成、環境保全に十分配慮する。

## 沖電グループ中長期環境目標

環境行動指針	No.	項目	目標値	
			2012年度中期目標	2017年度長期目標
地域環境保全の推進	1	PCB廃棄物の適正処理	法律に基づき2016年度までに全量処理する。	
地球環境対策の推進	2	CO <sub>2</sub> 排出原単位の低減	電気事業連合会で掲げられた目標に協調しつつ使用端CO <sub>2</sub> 排出原単位の低減を目指して温暖化対策を推進する。	—
	3	RPS法に基づく利用義務量の達成	RPS法の義務量達成	
	4	低公害車の導入推進	60%程度	100%
	5	オフィスでの電気使用量の削減	2006年度比5%削減	—
循環型社会形成の推進	6	オフィスでの水使用量の削減	2006年度比5%削減	—
	7	産業廃棄物3Rの推進	産業廃棄物(重油焼成灰、脱硫石膏、石炭灰以外)の有効利用率90%以上	産業廃棄物(重油焼成灰、脱硫石膏、石炭灰以外)の有効利用率95%程度
	8	オフィスごみ3Rの推進	可燃ごみ・不燃ごみ総量の2006年度比10%削減	可燃ごみ・不燃ごみ総量の2006年度比15%削減
環境コミュニケーションの推進	9	グリーン購入の推進	グリーン購入率85% (グリーン購入要領で定めた対象製品)	資機材を含めたグリーン購入の展開
	10	環境行動パネル展の実施	12回/年	12回/年
	11	エネルギー・環境教育の実施	12回/年	24回/年

## 年度環境行動実施計画

「環境行動指針」から展開される具体的な取り組みです。毎年、環境行動実績のチェック&レビューを行い、他の方針や計画、環境情勢も勘案して、「年度環境行動実施計画」を策定し、環境行動を実践しています。

これらの活動結果を、この環境行動レポートで紹介しています。

## 年度全体環境目標

「沖電グループ中長期環境目標」の達成に向けた目標展開を図ります。また、「年度環境行動実施計画」からも推奨される項目をピックアップし、目標展開する場合があります。

これらをまとめ、年度全体環境目標として、環境管理者のもと、PDCA<sup>※</sup>を回します。

※PDCAとは、マネジメントサイクルのひとつで、「計画(Plan)」、「実施・運用(Do)」、「点検・是正予防処置(Check)」、「見直し(Action)」を繰り返し行い、継続的に業務改善を図ること。